

蕨市議会・平成24年第1回(3月)蕨市議会定例会

2月23日から3月22日までの28日間の日程で議会が開かれました。
市長提出議案38件、報告・その他・提出3件について審議を致しました。

公明党蕨市議団は、平成24年度の予算案に対して、市民の皆様の
「生活を守る・命を守る」ことを重要視し是々非々の立場で、代表質
疑・委員会審議・一般質問において激しい論戦を展開致しました。

その後、討論・採決を行い閉会されました。

公明党の主張が実現!

政策実現政党「公明党」

公明党蕨市議団が、市政全般にわたって生活者の視線で行政要望を本会
議において提案をしたことで、数々の実績を残すことが出来ました。こ
こで、主な実績を紹介させていただきます。

- ・ 予防接種事業の拡充
 - 子宮頸がん予防ワクチン接種
「13～16歳は3回」15000円
 - ヒブワクチン
「0歳は2回または3回、1歳～4歳は1回」4000円→7000円
 - 肺炎球菌ワクチン
「0歳は2回または3回、1歳～4歳1回」4000円→8000円
 - 高齢者用肺炎球菌ワクチン
「70歳以上 1回限り」
- ・ 安全安心まちづくり地域貢献活動ポイント制度の導入
- ・ 自主防災組織の特別支援強化
- ・ 子ども医療(通院・入院)無料化、中学3年まで完全実施
- ・ 地球温暖化対策設備等設置費補助金
 - 太陽光発電システム 10万円
 - 太陽熱温水器 5万円
 - ガスエンジン給湯器 5万円
 - 家庭用燃料電池装置 5万円
 - 雨水貯留施設 5万円
- ・ 駅西口広場イルミネーション装飾のLED化
- ・ 空き店舗有効活用支援事業の拡充
- ・ 災害対策用備蓄品の拡充
- ・ 中学校普通教室にエアコンの設置
- ・ 学校体育館耐震化事業の拡充
- ・ 学校図書整備の拡充
- ・ 住宅用リフォーム助成制度及び耐震補強工事の助成拡充
- ・ 図書館改修事業

- ☆ 防犯灯設置工事業の拡充(LED灯75基分)
- ☆ 行政評価制度の充実
- ☆ 安全安心きれいなまちづくり事業の実施
- ☆ 交通安全施設整備事業の拡充(ソーラー街灯新設等)
- ☆ 戸籍基本住民台帳の電算化
- ☆ 地域生活支援事業の充実
- ☆ 障がい者夜間保護事業の実施
- ☆ 在宅要介護高齢者支援事業の実施(要介護度4以上、月額5000円支給)(平成21年10月より)
- ☆ 児童手当給付事業(子ども手当)の拡充
- ☆ 南町留守家庭児童室増設
- ☆ 駅前保育園事業の新設
- ☆ 女性がん検診事業の実施(無料健診クーポン券発行等)
- ☆ 妊婦一般健康無料診査事業の充実(健診回数1人14回、超音波検査1回→4回)

- ☆ 中小企業資金融資事業の拡充(新規利用者、利子額全額給付等)
- ☆ 橋りょう補修事業(塚越陸橋の補修)
- ☆ 錦町土地区画整理事業の増額
- ☆ 蕨駅東西口エレベーター設置
- ☆ 公園等整備事業の充実(北町わらび公園、錦町7号公園整備)
- ☆ 通教指導教室の設置(発達、情緒障がい通級指導教室を中心に整備)
- ☆ 幼稚園児補助金制度の拡充(3・4歳児1人28,000円、5歳児40,000円)
- ☆ 小中学校の耐震化補強事業の充実
- ☆ 駅前文化ホール整備事業の実施
- ☆ 新旭町公民館整備事業の実施
- ☆ 放射能詳細測定と除染の実施
- ☆ 学校給食の放射能測定の実施
- ☆ 小学校普通教室のエアコン設置
- ☆ 小中学校校舎耐震化の完全実施



公明
わ
ら
び

発行

戸田総支部
蕨支部

2012年4月



市議会議員
松本 徹
☎ 446-2093



市議会議員
高橋 悦朗
☎ 443-9110



市議会議員
大石 幸一
☎ 432-2450

代表質疑

松本 徹議員

〔平成24年度当初予算について〕

歳入

- 〔1〕市税全般の積算内容並びに市民税の減額理由について（個人分・法人分の内訳）及び滞納対策事業内容について
- 〔2〕地方特例交付金及び地方交付税の積算根拠について
- 〔3〕分担金及び負担金の増額内容について
- 〔4〕使用料及び手数料の増額内容について
- 〔5〕国庫支出金の積算根拠について
- 〔6〕財産収入の財産運用収入の増額内容と今後の計画について
- 〔7〕繰入金の財政調整基金、公共下水道事業整備基金、公共施設改修基金、市庁舎整備基金の各々の積算内容と今後の計画について
- 〔8〕諸収入の戸田競艇事業収入等の減額理由について
- 〔9〕市債の増額発行の内容並びに市債残高と今後の推移について
- 〔歳出〕
- 〔総務費〕
- 〔1〕性質別歳出の予算状況と特に人件費の抑制策について
- 〔2〕庁舎管理費及び庁舎改修事業の内容について
- 〔3〕防犯対策事業の事業内容について
- 〔4〕広報紙発行事業並びに番組制作委託料の積算根拠について
- 〔5〕仮称・総合振興計画策定委託料の内容について
- 〔6〕市民参画及び協働を推進する条例について
- 〔7〕総合行政情報化推進事業の内容について
- 〔8〕情報処理業務委託料の委託内容について
- 〔9〕コミュニティ活動促進費及び町会振興事業の事業内容について
- 〔10〕交通安全施設整備事業の内容及び事業計画について
- 〔11〕駅前自転車等対策事業の積算根拠について
- 〔12〕コミュニティバス運行事業の内容について
- 〔13〕徴収事務費の積算内訳並びに事業内容について
- 〔14〕戸籍住民基本台帳事務費の予算内容について

《民生費》

- 〔1〕社会福祉協議会補助事業の積算根拠について
- 〔2〕市民葬事業の事業内容について
- 〔3〕地域生活支援事業並びに障害者日常生活支援事業の新事業内容について
- 〔4〕障害者福祉費（施設管理費）の指定管理料の積算根拠について
- 〔5〕高齢者世帯民間賃貸住宅家賃助成金の積算内容について
- 〔6〕福祉入浴サービス事業の事業内容について
- 〔7〕紙おむつ給付費の積算内容について
- 〔8〕福祉連絡システム借上事業の内容について
- 〔9〕在宅要介護高齢者支援事業及び寧幸会補助金の事業内容について
- 〔10〕国民健康保険特別会計繰出金の積算根拠と脳ドック健診事業の事業内容について
- 〔11〕介護保険・後期高齢者医療の各々の特別会計繰出金の積算根拠について
- 〔12〕ファミリーサポート事業の事業内容について
- 〔13〕子ども医療給付費の積算根拠について
- 〔14〕子ども手当及び子どものための

一般質問

高橋 悦朗議員

平成24年度新規事業について

〔質問〕安全安心きれいなまちづくりポイント事業の目的と効果について、どのように考えているのか。地域活動によるポイント付与とそのポイントはどのように活用できるのか。

〔答弁〕まち連が実施する「くらしのサポート事業」を活用し、クリーンわらび市民運動や防犯パトロール、公園清掃活動等の参加者に対し、市内の商店で利用できるポイントを付与し、地域貢献活動者や町会加入者の増加や、商店街の活性化を図るものです。

〔質問〕自主防災組織育成特別交付金事業における防災機器購入による目的と効果をどのように考えているのか。24年度限りで時限措置した理由は何か。交付金は一律の金額となっているが、町会規模に対する格差は配慮されたのか。

〔答弁〕防災機器の備蓄による自主防災活動の基盤強化を目的とし、20万の限度額を設け、24年度限りの特別交付とします。必要な機材の種類や数を加入世帯から推測するのは困難なので格差は考えていません。

〔質問〕地球温暖化対策設備等設置費補助金事業としての太陽光発電システム等設備設置に対する補助金交付の目的と効果をどのように考えているのか。今後の家庭におけるCO2排出量の削減に向けた市の取り組みをどうするのか。

〔答弁〕家庭におけるCO2排出量の削減に資する設備の設置を促進することとで、環境への負荷の低減を図ることを目的とし、太陽光発電システム35Kw/hで年間約1200kg、家庭用燃料電池は約1500kgの削減効果が見込まれます。環境問題は一人一人が省エネに配慮した取り組みが大切であり、今後も、環境フォーラムの開催や出前講座、ホームページ等による環境配慮への意識向上の啓発をしてまいります。

特養施設建設に向けた市長記者会見について

〔質問〕過日2月20日に新年度予算の定例記者会見があり、続いて共同会見という形で、我々とすれば、唐突に特養施設建設が決定したとの話をされたが、これはメディア利用による既成事実作りであり、議会を軽視したパフォーマンズ要素の高い独断的会見ではなかったのか。第3の特養増設については、誰もが念願していたことであり、反対するものではないかもしれませんが、その前に議員全員の情報の共有・協力依頼をすべきであったと思います。民間事業者誘致への手法及び信用性の確保と記者会見に至った経緯はどのようなものであつたか。報道による奨励金交付への決定と議会への説明責任と理解、議会の承認についてはどのように考えているのか。今後の地域住民への周知理解についてどう取り組まれるのか。

〔答弁〕特養の整備は公益にかなうものであり、奨励金を交付する手法によって、OKIプロサーブと話し合いをし、その後社会福祉法人「ぱる」を選定し、土地の賃貸契約を結ぶ連絡をいただきました。そして、20日の説明をしました。そして、20日にOKIプロサーブ及び沖電気工業と共に会見を実施しました。住民への周知、理解については、「ぱる」が今後、戸別訪問による説明や、地

域説明会の開催を予定しており、市として必要な協力をしていきます。

高齢者にやさしいまちづくりについて

〔質問〕高齢者の見守り活動や高齢者実態調査、最近では、緊急医療情報力ードの配布など民生委員の活動量は増す一方ですが、その負担軽減のために地域貢献活動としての「民生協力委員」制度の取り組みはどうか。民生委員と町会との協議、連携した支援体制の検討は大事と考える。

〔答弁〕民生協力委員制度は、東京都や兵庫県で導入されていると承知はしています。市の民生委員は、定数127名に対し、充足されており、協議会からも増員の意見もありませんが、今後も負担増は考えられるので、県の意向や協議会からの要望を聞きながら研究していきます。

子育て支援について

〔質問〕待機児童解消のため、とりわけ低年齢児童保育の補完として家庭保育室は重要であり、その現状とさらなる整備と新たに保育ママ制度の導入は考えられないか。近年、近隣市でも補助金を活用した3人乗り自転車購入費助成及びレンタル事業が実施されているがどのように考えるか。

〔答弁〕いずれも課題が多く、現状での実施は難しいと考えています。

大石 幸一議員

補正予算について

〔質〕土地購入後の使途として、民間企業に駐車場として貸し出すとしているが、その後の長期展望政策は何かあるのか。また、第2駐車場の償還計画は、どのようになっていたのか。

〔答〕「購入後の使途」現在の管理体制を見直し、24時間運営のゲート式駐車場と考えております。「その後の長期の展望」は、公共施設全体の再配置等の施策のなかで、将来の用途を検討してまいりたい。昨年8月に策定した「経営健全化計画」では、前計画における約17億円の買い戻し実績から、実現可能性を重要視し、5年間で約12億円を買い戻す計画としており、「庁舎第2駐車場」の買い戻しにつきましては、23年度から26年度の4年間で、分割して買い戻す計画となっております。

防災対策について

〔問〕耐震補強工事補助金の対象として「住宅用耐震シェルター」も含める時期であると思うが、どう考えるか。

〔答〕震災被害から市民の生命を守ることは、大変重要なことでありますので、「住宅用耐震シェルター」につきましては、今後、住宅の耐震化の促進の中において、検討してまいりたいと考えております。

〔問〕市民からのニーズが高まっている、出前講座について、土日祝祭日にも実施すべきと考えるがどうか。

〔答〕夜間や休日等に出前講座の利用を希望される市民団体もあることから、休日等の講座開催を行うケースもあるところでございます。教育委員会といたしましては、今後とも、市民ニーズにこたえるため、休日等の出前講座開催については、関係部署と調整し、担当課及び職員が可能な範囲で対応してまいりたいと考えております。



(問) 防災に関する出前講座についての実績はどうなっているのか。

(答) 消防では、まちづくり出前講座のメニューと致しまして、「火災への備えについて」、「住宅用火災警報器の設置について」、「市民による救急蘇生法と応急手当講座」、「消防自動車などの体験講座」の4項目を実施。各町会で組織しております。自主防災会の依頼により、消防訓練及び応急手当訓練等に、出向しております。市民生活部の安全安心推進課では、「災害に備えよう平常時の備えと緊急時の対応」と題する出前講座を実施しております。ほかに昨年3月11日に発生した東日本大震災每心まえた内容を加味して実施しております。

(問) 防災訓練について8月のみの実施ではなく他の季節でも実施すべきだと考えるがどうか。また防災型の避難訓練も実施すべきと思うがその見解はどうか。

(答) まず8月以外の季節の実施が、防災週間に近い現在の開催時期が既に定着していることと、市内で行われる他の行事や会場である学校運営への影響が懸念されることか季節の変更開催回数が増加については予定しておりません。防災型の防災訓練は各自治防災組織で実施されております。その防災訓練が発災型等の効果的な防災訓練となるよう各自自治防災組織町会長連絡協議会と協議してまいりたい。

(問) 小・中学校で行われる防災教育の実績と内容について。また24年度の計画についてはどのようなになっているのか。

(答) 教科や特別活動の中の学級活

動及び学校行事の中で計画的に進められております。防災教育の中で大きなものが、避難訓練であります。今年度も全ての小・中学校で複数回実施しております。全ての小・中学校で緊急地震速報を使用した避難訓練を実施いたしました。また、避難訓練以外にも、不審者対応訓練や、中学校における救命訓練等、児童・生徒の防災意識を高める取組を実施しております。24年度の計画についてありますが、現在、各学校で作成しているところでございます。

教育委員会では、災害発生時の対応の基準を定めた新しい学校防災マニュアルを本年度作成し、全ての小・中学校に配付いたしました。危機管理体制の充実を図るとともに、防災教育のより一層の充実を図ることができるよう指導してまいりたいと考えております。

(問) 災害時ホームページ代理掲載についてはどのように考えているか。

(答) 蕨市のホームページは、平成12年6月より運用を開始し、当初より、本市の情報システムと同様に、わらびケーブルビジョン「ウイंक」内の、より安全で専門的なスペースに専用サーバを置き、定期的なデータの保存など、適正な管理の下、運用を行っており、災害等で市役所での運用ができなくなりましたが、「ウイंक」内で、代理掲載ができる体制となっております。しかしながら、東日本大震災など、大規模災害時は、広範囲での被害が想定されることから、緊急の情報発信手段として、他県自治体と連携を結び、代理掲載をしていく手法も、今後、調査・研究を進めていきたいと思っております。

今だからこそ「防災・減災対策」を進めていこう！

公明党は、昨年の東日本大震災と数々の災害を受けて今、災害に対する見直しといざというときのための防災対策・防災教育の啓発運動を実施しております。

防災DVDと防災啓発ブックレット『震災から自分と家族を守るために普段から備えておこう』と『災害時あんしんシート』を作成し、皆さんのご利用を推進しております。



災害時あんしんシート		
フリガナ _____ 年 月 日 現在		
氏 名	姓 男・女	血液型
生年月日	昭和 _____ 年 月 日	
住 所		
自宅電話番号	携帯電話番号	
持 有 車		
雇用しているお家		
※かかりつけの病院	※お住む1年以内に受診歴がある病院	
診療科/担当医師		
所在地/電話番号		
過去に入院歴のある病気/ケガと病院		
【自宅以外の緊急連絡先】		
氏 名	電話番号	関係

(このシートは救急隊等が確認するためのものです)

★水性ペンはさけて、ボールペンかえんぴつで記入することをおすすめします。	
★さらに、水にぬれないようにビニール袋などに入れて身分証明書と一緒に常時携帯してください。	
行政が定めた最寄りの避難場所（近所の役所や町内会に確認しておきましょう）	
一時集合場所	
避難場所	
避難所	
注意事項	
1. 災害時あんしんシートについて	
●あんしんシートは、外出時に病気やケガで倒れた場合や震災など、救急時に使えるものです。	
●あんしんシートは、あなた自身の救急情報を、駆け付けた救急隊等に提供することを目的としています。	
●あんしんシートの救急情報は、救急隊等が活用することに同意できる方は、ご自身で記入をお願いします。	
●救急隊が、あなたの衣服のポケットやバッグの中身などを積極的に確認することはありませんので、あんしんシートは、救急隊が見やすいように携帯してください。	
●あんしんシートは、第三者に自身の情報が漏えいする危険を伴いますので、紛失の防止に努め、ご自身の判断と責任において携帯してください。	
2. 緊急連絡先について	
救急隊等が、緊急連絡先に記載されている連絡先に連絡することがありますので、連絡先として記載する方に対し、ご自身で事前に説明し同意を得ておいてください。	

<http://www.komei-warabi.com>

※Yahoo で「公明党蕨支部」「蕨市公明党」と検索すると検索結果のトップページに掲載されています。